平成29年度 新潟県工業技術総合研究所の利用に関するCSアンケート

**平成30年2月16 日（金）までにご回答願います。**

○郵送：返信用封筒に入れてお送りください

○FAX：０２５－２４４－９１７１（両面に注意してください）

○E-mail：info@iri.pref.niigata.jp

●当研究所の利用に関する**感想、貴社のニーズ、ご意見ご要望**をお聞かせください。

●**経営者**または**技術部門の責任者の方**からご回答をお願いします。

●それぞれの設問について該当する項目を○で囲むか、［　　　］欄に記入してください。

①　当研究所を利用し始めたのはいつ頃からですか。

１ 平成29年度から　　 ２ 平成28年度から　　 ３ 平成27度以前から

②　貴社の業種を下記の項目で分類するとどの項目に該当しますか。

１ 化学 ２ 電気・電子 ３ 機械・金属 ４ 木材・家具 ５ 繊維 　　６ 食品

７ プラスチック　８ 窯業 ９ 卸売･小売 10 その他［ ］

③　あなたの職種は何ですか。

１ 経営者　　　　　 ２ 生産技術・製造技術　３ 研究・開発　　　４ 設計

５ 品質管理・検査　 ６ 生産管理　　　　　　７ その他［ ］

④　これまでに利用されたことのあるサービスは次のうちどれですか。利用されたことのある全てのサービスについて、その満足度の番号とその理由等を記入してください（複数回答可）。

満足度　：　１ 満足、２ やや満足、３ どちらでもない、４ やや不満、５ 不満

　　　　　　　　　　　　↓

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| サービス名 | 満足度 | 理由・コメント等 |
| (1)技術相談 |  |  |
| (2)依頼試験 |  |  |
| (3)機器貸付 |  |  |
| (4)ミニ共同研究※１ |  |  |
| (5)共同研究 |  |  |
| (6)大型研究プロジェクト※２ |  |  |
| (7)研究会セミナー |  |  |
| (8)研究成果発表会 |  |  |
| (9)ホームページメールマガジン |  |  |

※１　ミニ共同研究：企業等技術課題解決型受託研究を指します。

※２　大型研究プロジェクト：国等の競争的資金によるコンソーシアム型研究事業を指します。例えば、

経済産業省サポイン事業、JST A-STEP事業等です。

⑤　当研究所を利用されたことによる経済的な効果についてお伺いします。ご利用いただいた技術サービスによる売り上げ増加、クレーム解決による損失回避、コストダウン効果など、おおよその経済効果について該当する部分に○印をつけてください。

（複数回または複数のサービスをご利用いただいた場合は、ご利用いただいたサービスごとに合計した金額で回答をお願いします。）

　【記入例】

　　（例１）依頼試験で引張試験を行い、その製品が600万円の販売に繋がった。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 効果なし | 10万円未満 | 100万円未満 | 1,000万円未満 | 1億円未満 | 10億円未満 | 10億円以上 |
| (2)依頼試験 |  |  |  | **○** |  |  |  |

　　（例２）ミニ共同研究でクレームが解決できたことにより、2,000万円の損害を回避した。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 効果なし | 10万円未満 | 100万円未満 | 1,000万円未満 | 1億円未満 | 10億円未満 | 10億円以上 |
| (4)ミニ共同研究 |  |  |  |  | **○** |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 利用したサービス | 効果なし | 10万円未満 | 100万円未満 | 1,000万円未満 | 1億円未満 | 10億円未満 | 10億円以上 |
| (1)技術相談 |  |  |  |  |  |  |  |
| (2)依頼試験 |  |  |  |  |  |  |  |
| (3)機器貸付 |  |  |  |  |  |  |  |
| (4)ミニ共同研究 |  |  |  |  |  |  |  |
| (5)共同研究 |  |  |  |  |  |  |  |
| (6)大型研究プロジェクト |  |  |  |  |  |  |  |

⑥　利用されたときの職員の対応（接遇）や説明（わかりやすさ）はいかがでしたか。あてはまる感想を○で囲んでください。

１ 満足　　２ やや満足　　３ どちらでもない　　４ やや不満　　 ５ 不満

　　　　　よろしければ、その理由について記入してください。

⑦　当研究所では「もう一歩踏み込んだ技術、踏み込んだ解析！」を活動目標に掲げ、日常の業務に対応しておりますが、技術的な対応に満足いただいた経験、またはもう少し踏み込んで対応して欲しかったという経験がありましたら、その概要について記入してください。

⑧　当研究所では、皆様からのご要望をもとに設備機器の導入（平成28年度～29年度に導入した設備機器はアンケート４ページ目をご覧ください。）や技術サービスの改善を図ってまいりたいと考えております。当研究所への要望について、あてはまるもの全てを○で囲んでください（複数回答可）。また、具体的なご要望があれば［］内に記入してください。

⑧-1 依頼試験について

１ 試験項目の拡充［具体的な試験名：　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　］

２ 試験機器の更新・性能向上［具体的な機器名：　　　　　　　　　　　　　　　　］

３ 校正実施機器の拡大［具体的な機器名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

４ 手続きの簡略化［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

５ 試験の迅速化［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

６ その他［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　 　　　　］

⑧-2 機器貸付について

１ 新規設備の導入［具体的な機器名：　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　］

２ 貸付機器の更新・性能向上［具体的な機器名：　　　　　　　　　　　　　　　　］

３ 校正実施機器の拡大［具体的な機器名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］４ 手続きの簡略化［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

５ 取扱い説明の充実［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

６ その他［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　］

⑧-3 その他

１ 支援できる技術分野の拡大［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

２ 研究会・セミナーの充実［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

３ 技術相談の質の向上や迅速化［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

４ 研究職員の技術的質の向上［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

５ ホームページ等の情報発信の充実［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

６ その他［ ］

⑨　当研究所および県では以下の分野（概要は別紙「調査研究等の概要」をご参照ください）について、セミナー・研究会による情報提供や、共同研究等を実施しております。これらの分野についてお聞きします。

　⑨-1 興味ある分野の番号を○で囲んでください（複数回答可）。

１ 農業分野におけるICT活用（植物生体情報のセンシング等ＩＣＴ技術の農業への応用)

２ ３次元ものづくり製造技術（３次元データの交換による生産工程の効率化）

３ 繊維技術を活用した加飾加工（テキスタイルと異種素材の接合による加飾加工を検討）

４ ファインバブル（ファインバブルの計測・評価に関する調査研究）

５ 微細構造分析（加工プロセスと微細構造解析技術による付加価値製品開発）

６ ナノセルロース（セルロースナノファイバの製品適用可能性）

７ 航空機産業参入推進（航空機産業参入に対応できる金属加工技術の開発と普及）

８ AI・IoT活用促進（AI・IoT活用による生産性の向上、新潟県IoT推進ラボ）

９ 次世代自動車産業振興（自動車産業に関する情報収集、生産管理や技術の向上）

10 その他の分野（具体的に記入してください）

⑨-2 上記で記載した分野について、当研究所からどの様な支援サービスを希望しますか。あてはまるもの全てを○で囲んでください（複数回答可）。また、具体的なご要望があれば［］内に記入してください。

１ セミナーの開催［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

２ 研究会活動の実施［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

３ 共同研究の実施［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

　　 ４ 依頼試験・機器貸付等の技術支援［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

５ 大学・企業とのマッチング［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

　　 ６ その他（具体的に記入してください）

⑩　最後に、県の産業振興施策や当研究所へのご要望がありましたら記入してください。

　差し支えなければ、貴社名を記入してください。ご協力ありがとうございました。

貴社名［　　　　　　　　　　　　　　　］

【参考】平成28年度～29年度に、当研究所では以下の機器を整備（予定も含む）いたしました。
是非ご利用ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 設置センター | 機器名 | メーカ・型番 |
| H28 | 下越 | 促進耐候性試験機 | スガ試験機　SX75-S80 |
| EMIテストレシーバー | Rohde & Schwarz ESRP7 |
| マイクロフォーカスＸ線ＣＴ装置 | NIKON METROLOGY　MCT225 |
| ハイスピードカメラ | フォトロンFASTCAM Mini AX100 |
| ネットワークアナライザ | Rohde & Schwarz ZVA67 |
| ファインバブル径測定システム | 島津製作所 SALD-7500X10 |
| 素材応用 | 走査型電子顕微鏡 | 日本電子 JSM-IT300 |
| 県央 | 試料研磨装置 | PRESIメカテック334 |
| H29 | 下越 | ガスクロマトグラフ質量分析装置 | Agilent 7890B、7200B GCMS Q-TOF |
| 疑似電源回路網 | Rohde & Schwarz ENV432 |
| イオンミーリング装置 | 日立　IM4000Plus |
| 試料研磨機 | 池上精機　ISPP-1000 |
| 精密切断機 | BUEHLR IsoMet Hight Speed Pro |
| 電界放出形走査電子顕微鏡 | 日本電子 JSM-7800F Prime |
| 測定顕微鏡 | ニコン MM-800/LMVFA |
| 素材応用 | 赤外分光光度計 | Perkin Elmer Spotlight 150i |
| 県央 | 三次元測定機データ処理装置 | ミツトヨ　MCOSMOS |
| 上越 | 赤外分光光度計 | （導入手続き中） |
| 3Dスキャニングシステム | （導入手続き中） |